

## よくあるご質問（FAQ）

〔小中高一貫教育校〕東京都立立川国際中等教育学校附属小学校 令和5年4月更新

※ 表中に「要綱」とあるのは、令和4年5月に東京都教育委員会から公表された「令和5年度 東京都立小学校入学決定に関する実施要綱・同細目」を指します。令和4年度学校説明会参加者からのご質問に対する回答も記載しています。

番号	項目	質問	回答
1	設置意義	東京都が小中高一貫教育校をつくる意義は何ですか。	東京都が小中高一貫教育校を設置する意義は、次の2点です。 ①一貫教育の仕組みを生かし、世界で活躍し貢献できる人間を育成するための教育実践や東京都の教育課題の改善を図る取組を行うこと。 ②東京都の教育課題等に係る先導的・実践的な研究を行い、得られた知見や成果等を都内区市町村に発信すること。
2	通学	概ね40分の範囲内にある鉄道の駅やバス停を含む区市町村とはどういう意味ですか。	本校までの所要時間が、概ね40分以内の鉄道の駅やバス停が一つでもあれば、その区市町村全体を通学区域とするという意味です。通学区域となる具体的な区市町村名は、東京都教育委員会や本校Webサイト、説明会の配布資料でご確認ください。
3	通学	電車やモノレールで通学の場合、立川駅から学校までは徒歩ですか。バスですか。	原則、1・2年生はバスで通学することとしています。また、3・4年生についてもバス通学とする方向で、東京都と現在協議中です。 なお、5・6年生からは徒歩による通学を予定しています。  JR立川駅（北口）及び多摩都市モノレール立川駅からは、12番乗場立川バス「北町」行きに乗りし、「立川国際中等教育学校」で下車します。
4	通学	スクールバスはありますか。	スクールバスを運行することは難しい状況です。公共交通機関をご利用ください。
5	通学	学校の近隣に住んでいる場合は、徒歩による通学はできますか。	できます。本校の1.0km圏内に通学路を定めています。
6	通学	バスで通学する場合、乗降車するバス停に決まりはありますか。	ございます。JR立川駅・多摩都市モノレール立川北駅を利用する場合は、Q3を参照ください。それ以外の場合は、児童の安全を第一に、現時点で、乗降車するバス停を次のように指定しています。 立川国際中等教育学校、高松二丁目、立川六小、下弁天、北第一公園西 なお、これ以外のバス停を利用する必要がある場合は、入学後にご相談ください。
7	通学	立川駅や国立駅からバスを利用する場合、駅のバス停に誘導員はいますか。	立川駅の他、指定された場所に交通誘導員が立ち、児童の安全を優先し、誘導、見守りを行っています。
8	通学	交通機関遅延・災害時の通学や対応はどのようになっていますか。	原則、立川市、居住区域で警報が出ているかによって判断を行います。また、警報内容によって、自宅待機、登校時刻を遅らせるなど、対応が異なります。
9	入学決定方法	海外帰国児童の要件である「継続して1年以上海外に在住している者」とは、出願最終日から遡って365日（閏年の場合は366日）ですか。	そのとおりです。
10	入学決定方法	小学1年生以外の募集はありますか。	小学校段階への入学については、小学1年生以外の募集はございません。なお、都立立川国際中等教育学校については、令和9年度までは、現行どおり、160名を募集する予定です。
11	入学決定方法	適性検査への対策として、塾等に行く必要がありますか。	本校として、塾等に行くことは想定していません。「適性検査問題例」を本校Webサイトに公表していますので、参考にしてください。 なお、本校スクールガイドに、本校が求める児童の姿を掲載しています。お子様と一緒に調べたり、考えたり、話をしたりしながら、お子様の考えや取組に価値付けをしたり、お子様の次の学びにつながるお話をしたりするご家庭を本校では求めています。
12	入学決定方法	通学指定区域内に住んでいますが、遠方です。受検で不利になりますか。	不利になることはございません。しかしながら、受検を検討される場合は、毎日の登下校が、お子様の負担過重とならないかどうか、ご家庭で十分に検討をお願いします。

番号	項目	質問	回答
13	入学者決定方法	指定された通学区域外に住んでいます。合格したら、指定された通学区域内に転入するので、通学区域外から出願することはできますか。	通学区域外に居住している場合は、 <b>出願時点で</b> 、志願者が保護者と共に、入学日までに通学区域内に転入することが確実で、かつ、その後も引き続き通学区域内から通学することが確実であれば出願は可能です。この場合、入学日までに通学区域内に転入することが確実であることを証明する書類を、願書等と一緒に提出いただけます。あわせて、入学日までに、「住民票記載事項証明書」を提出いただけます。 なお、 <b>本校へ入学手続をするため、一時的に通学区域内に住所を有し、入学後再び通学区域外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する場合は、応募することはできません。ご注意ください。</b>
14	入学者決定方法	志願者数が多数の場合、抽選を行うとのことですが、適性検査を受ける人数は何人ですか。抽選はどのように行いますか。	令和5年度入学者決定においては、一般枠募集は男女各200名程度、海外帰国・在京外国人児童枠募集は男女各20名程度としています。抽選方法等については、出願書類を受理された方にご連絡します。第一次抽選では、志願者の保護者の方の中から複数名の方に立会人をお願いします（立会人を承諾される方には、本校が配布する「募集案内及び出願書類」に含まれる承諾書を出願時に願書とともに提出いただく予定です。）。
15	入学者決定方法	学校が求めるのは、どのような児童ですか。適性検査はどのような検査ですか。	本校が求める児童の姿については、スクールガイドを参考にしてください。適性検査については、本校Webサイトに貼付してある、「過去の適性検査問題等」を参考にしてください。適性検査では、読み書きや、数字を用いた計算問題、英語の問題は出題しません。
16	入学者決定方法	Webサイトに掲載されている適性検査問題（例）を見たのですが、文字を読んで解答するのでしょうか。	受検者が文字を読んで解答することはできません。「問題及び解答例」の筆記A・筆記Bは、検査会場で説明する内容と解答例を掲載しています。受検者は、話を聞いて、絵が描かれた用紙（解答用紙）を見て解答します。
17	入学者決定方法	筆記大問5で色を塗る際、色は色鉛筆と鉛筆のどちらで塗るのですか。	青色の色鉛筆です。学校で用意するので、持参する必要はありません。（学校が用意するものを使います。）
18	入学者決定方法	適性検査では、消しゴムを使いますか。また、適性検査当日、筆記用具等は持参する必要がありますか。	解答を間違えた場合等に、消しゴムを使います。適性検査で用いる筆記用具や消しゴムは、学校で用意するので、持参する必要はありません。（学校が用意するものを使います。） 適性検査で使用する鉛筆は2Bです。
19	入学者決定方法	適性検査では、受検者や保護者の服装に決まりがありますか。	受検者は運動遊びの検査がありますので、動きやすい服装で来てください。保護者の服装には特に決まりはありません。受検者も保護者も必ず室内履きをご用意ください。受検者の室内履きは、運動に適したものをお願いします。脱げてしまいやすいスリッパなどは避けてください。
20	入学者決定方法	海外帰国・在京外国人児童枠募集の適性検査は、日本語だけでいいですか。	日本語だけではできません。出願の際、①「日本語」、②「英語」、③「日本語と英語」の3つの中から一つを選択していただきます。出願後、変更することはできません。
21	入学者決定方法	入学時、英語力はどのくらい必要ですか。事前に英語を勉強しておく必要がありますか。	入学時の英語力は問いません。入学後、外国人指導者と共に、東京都教育委員会が本校用に作成したテキストを使用して、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの基礎から学びます。
22	入学者決定方法	きょうだいが在学している場合や双子の場合、優先して入学できる制度はありますか。	そのような制度はございません。全員同じ条件で検査・抽選を行います。
23	入学者決定方法	学校説明会への参加は、入学者決定に関係しますか。	入学者決定には一切関係ございません。しかしながら、本校の教育理念や教育内容等についてご理解いただいた上で、受験をお考えいただきたいと思いますので、学校説明会へ参加いただけない場合は、本校Webサイトに掲載されている説明動画等をご覧ください。
24	入学者決定方法	早生まれへの対応はありますか。	選考に関する内容を含むため、詳細についてお答えはできませんが、生まれ月によって、有利又は不利になることはございません。
25	入学者決定方法	特別枠（海外帰国児童・在京外国人児童枠）募集の定員は何名ですか。	男女各6名です（全体の募集人員である男女各35名に含まれます）。募集人員は、毎年度、東京都教育委員会から公表されますので、正式な人数は、都教育委員会のWebサイトで確認ください。都教育委員会から公表後、本校Webサイト及びツイッターでもお知らせします。
26	入学者決定方法	繰上げ合格や第二次募集はありますか。	一般枠では、第3次の抽選で最終合格者とならなかった受検者について、繰上げ合格の順番を決定し、入学予定者（最終合格者のうち、入学手続きをした者）が募集人員に満たない場合に、繰上げ合格者を決定します。第二次募集は実施しません。また、特別枠では、繰上げ合格や第二次募集は行わない予定です。
27	入学者決定方法	適性検査のインタビューの対象は誰ですか。	受検されるお子様です。

番号	項目	質問	回答
28	入学者決定方法	入試のインタビューで、少し英語の単語が出てても、評価は下がらないでしょうか。(一般)	選考に関する内容を含むため、詳細についてはお答えできませんが、英語が話せる、話せないなどによって、有利又は不利になることはございません。
29	入学者決定方法	適性検査の会場はどこですか。また、適性検査中、保護者はどうしていますか。	会場は、東京都立立川国際中等教育学校附属小学校です。当日は、お子様と一緒に受付をしてください。検査中のお子様の状況等、必要に応じて、保護者の方にご連絡する場合がございます。保護者の方は、検査終了まで控室でお待ちいただき、検査終了後にお子様と一緒にお帰りいただけます。
30	教育内容	小学校から第二外国語にふれるとありますが、具体的な言語は何ですか。教科として学ぶのですか。	言語は、地域等を考慮して、韓国語、中国語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、アラビア語を予定しています。小学校段階では、教科として学ぶのではなく、特別活動等で、日本語と英語以外の様々な言語に出会い、言語のおもしろさにふれ、多様性に気付く機会を設定する予定です。中学校段階では、小学校での学びに基づき、第二外国語として一つの言語を主体的、積極的に選択し、授業で深めます。
31	教育内容	プログラミング教育については、どのように考えていますか。	小学校低学年では、国語、算数、生活、特別活動等の特質に応じてプログラミングを体験しながら身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付く学習を行います。児童が学習を通じて、問題を解決するためには必要な手順があることに気付くことができるようにし、コンピュータ等を活用しながら問題を解決しようとする態度を育みます。プログラミング的思考を、いつ、どのような学習活動をとおして育成するかについては、教育課程を工夫して、他の学びとも関連付けながら取り組む予定です。
32	教育内容	都立小中高一貫教育校の中学校段階（中等教育学校）への進学に向け、小学校段階における学習の定着をどのように行いますか。	単元テストを実施して、その都度、理解度を確認するとともに、学期毎に中間・期末考査を実施し（小学1年生の1学期は期末考査のみを予定）、その時までの学習内容の定着度を把握します。結果を、児童及び保護者の方と共有しながら必要に応じて補習や更に学びを深められるような学習を行い、本校の中学校段階へ向けた指導を行います。また、個々の児童の授業出席時数を把握するとともに、学習の遅れや理解不足がないよう補います。補習等には、一人一台貸与する端末も活用します。あわせて、ご家庭には、家庭学習の支援と家庭学習の習慣の確立をお願いします。
33	教育内容	教師は教科担任制になるのでしょうか。	教科によっては、教科担任になります。
34	教育内容	国際バカロレアの認定校になりますか。	現在、その予定はございません。
35	教育内容	特別支援学級について教えてください。	令和3年4月より、東京都の全公立小中学校に特別支援教室が設置され、特別支援教育を担当する教員が巡回指導しています。児童は在籍学級での指導を受けながら、校内での通級指導を受けます。専門の先生が付き、一人一人のニーズに合わせた支援をしながら、児童と共に様々な課題に取り組みます。制度の詳細については、東京都教育委員会HPをご確認ください。
36	教育内容	入学後、海外帰国児童・在京外国人児童にどのような日本語のケアをしますか。	日本語習得のための授業を個別に実施する予定です。
37	進路	高校卒業後の進路についてどのように考えて指導しますか。	本校の教育理念に基づく生徒像は、「高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材」です。この生徒像を目指して児童・生徒は学び、学校は指導にあたります。高校段階を卒業した後の進路選択については、個々の生徒が、身に付けた資質・能力を自分の幸せのためだけでなく、世界の人や社会の幸せの実現のために力を発揮することを念頭におき、指導を行います。その際、海外も視野に入れることを期待していますし、学校は一人一人が希望する進路の実現に向け、最大限サポートをします。例えば、本校での学びに基づき、将来、医学や科学、法律や経済、文学や教育等の分野で人や社会に貢献したい、世界的規模で発生している課題を、海外の関連機関で諸外国の人々と解決に向け取り組みたいなどの目標を生徒自身がもつことになれば、卒業後に、その道につながる進学先を選択することができるようにサポートしていきます。
38	アレルギー対応	給食のアレルギー対応について教えてください。	入学予定者となりましたら、食物アレルギー調査票を提出していただきます。食物アレルギーの対応は、完全除去対応を基本とし、原則、代替食対応は行いません。また、飲用牛乳以外の部分返金もありません。入学式終了後、「学校生活管理指導表」をもとに個別に面談を行い、個別取組プランを作成して、対応内容を協議・決定します。誤食防止のため、全教職員で情報共有します。

番号	項目	質問	回答
39	授業日	土曜授業はありますか。	令和4年度は8日実施しました。
40	学校校則	校則はありますか。	ございます。学習上、生活上の規律として、服装や持ち物、登下校のきまり等を定めています。
41	学校校則	防犯ブザーと一体型でないGPSを持たせることは可能ですか。	可能です。その他の位置情報提供サービス等もご家庭の判断で持たせることが可能です。
42	学校校則	緊急時のみの使用を目的として携帯電話を持たせることは可能ですか。	可能です。入学後、担任にご相談ください。
43	施設	図書館の本は貸出可能でしょうか。	貸出可能です。現在は小学校図書のみのお貸出となっております。
44	施設	蔵書数について教えてください。	蔵書数は、約38,000冊です。サイエンスコーナーに約7,000冊、文庫新書コーナーに約8,000冊、マルチリンガルコーナーに約2,000冊、書庫に約5,500冊があります。分野別に分けると、文科系の蔵書数が約32,000冊で、理工系の蔵書数が約5,000冊です。(令和5年2月時点)
45	学用品	ランドセルは指定品ですか。	ランドセルは、ご家庭でご準備いただきます。色や形等は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・色：黒色・無地</li> <li>・形：「キューブ型」又は「学習院型」  ※A4フラットファイル対応サイズ</li> </ul> 下に本校Webサイト「制服・ランドセル等」ページのURLを貼付しますので、参照ください。  (イメージ) <a href="http://www.12ikkan-j.metro.tokyo.jp/information/seifuku.html">http://www.12ikkan-j.metro.tokyo.jp/information/seifuku.html</a>
46	学費	入学時、費用はどのくらいかかりますか。	義務教育段階では、入学料と授業料(教科書含む)はかかりません。別途、制服代や教材費、給食費、行事等積立金などがかかります。概算は、スクールガイドをご覧ください。
47	就学援助	就学を支援する制度はありますか。	義務教育を対象とした就学援助は、区市町村教育委員会で行なっています。申込手続、援助内容等は各区市町村により異なりますので、詳細はお住いの区市町村にお問い合わせください。下に各区市町村教育委員会の該当ページにアクセスできるURLを貼付しますので、参照ください。 <a href="https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/tuition/tuition/board_of_education.html">https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/tuition/tuition/board_of_education.html</a>
48	放課後	学童保育やアフタースクールはありますか。	学童保育やアフタースクールはございません。区市町村各自治体運営の学童保育については、お住まいの自治体にお問い合わせください。
49	転学/編入学	入学後、保護者の転勤等で転校する場合、戻ってきた時に復学できますか。	次の①～③の全てに該当する場合に復学が可能です(令和5年4月現在)。 ①保護者の転勤等により、やむを得ず、通学区域外へ転居し、本校を転学・退学し、かつ、第8学年までに転学・編入学する際に、指定の通学区域内に居住し、通学することが可能な場合 ②本校から転学・退学する際に、本校へ転学・編入学する旨をあらかじめ伝え、かつ、学校が指定した期日までに転学・編入学する意思を再度、本校へ伝えた場合 ③学習状況等を確認した上で、校長が適性を認めた場合
50	転学/編入学	学年の途中で、転出等、欠員が出た場合、募集することはありますか。	転出、欠員等の募集はございません。
51	保護者の関わり	入学後、保護者はどのように関わりますか。PTA活動などはありますか。	本校では、児童・生徒の学びに関わる全ての人を「学びの共同体」として位置付けています。保護者の方は、特に重要なメンバーです。保護者の方には、例えば、次のように関わっていただきたいと考えています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後、一定期間、登下校の付き添いをしていただくこと(登校は、ゴールデンウィーク明け頃まで、下校は、入学後2週間程度まで)</li> <li>・家庭学習を支援していただき、家庭学習の習慣を確立していただくこと</li> <li>・「チーム立国人材バンク」に登録いただき、保護者の方の経験やスキル等を「学びの共同体」の他の児童のために提供いただくこと</li> </ul> ※令和4年7月、PTA準備委員会立ち上げ、令和5年度PTA設置予定